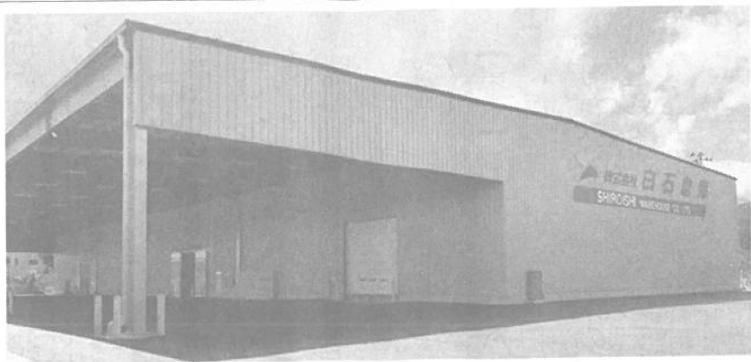


# 低温・常温倉庫が稼働

## コメ中心 農産物を保管

### 白石倉庫



建設を進めてきた三つの倉庫のうち2番目に竣工（TTT3号倉庫）

栄一社長、宮城県白石市は17日、本社敷地に隣接する白石インター営業所TTT（トラックターミナルセンター）の3号倉庫棟を稼働させた。TTT敷地内（2万4500平方㍍）で建設を進めてきた三つの倉庫のうち2番目に竣工した倉庫で、床面積3700平方㍍の鉄骨造り平屋建て。セ氏10～15度に対応した定温倉庫に加えて一部常温倉庫も備える。コメを中心とした農産物などを保管する。

これまで、東北自動車道・白石インター・エンジニアリングで、10棟の倉庫を辺エリアで、稼働させる計画を推進してきた。「2024年問題」を踏まえ、東京→青森のほぼ中間点となる優位性を生かせる拠点整備に努めている。本社トランクルームと

【宮城】白石倉庫（太宰栄一社長、宮城県白石市）は17日、本社敷地に隣接する白石インター営業所TTT（トラックターミナルセンター）の3号倉庫棟を稼働させた。TTT敷地内（2万4500平方㍍）で建設

ア向けの日用品がメインの倉庫。残る2号棟は日用品需要への対応を見込んでおり、11月稼働の予定だ。太宰社長は3号棟の完成について「更なる保管品質の向上を目指して、地域の農産物物流に貢献できれば」と抱負を語る。

白石インター営業所などを含めた全体で3万7500平方㍍の敷地に、延べ床面積2万1900平方㍍の受け入れ態勢がこの秋にも整う。（今松大）